



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 99 号



平成 24 年 出初式 保田小学校

は や わ か り	12 月定例議会	
	水道料金 5%引き下げへ	2 ページ
	補正予算	
	水道会計総合対策繰り出し	3 ページ
	一般質問	
	三国・緒方・小藤田の 3 議員	4~5 ページ
	議員全員協議会・臨時議会	
	水道料金見直し	6~7 ページ
裏表紙		
	参加してみませんか 味わいハイキング	8 ページ

発行／鋸南町議会 編集／議会広報特別委員会

※鋸南町議会では平成 23 年 9 月より、鋸南町ホームページ上で本会議の会議録を掲載しております。是非ご覧下さい。 <http://www.town.kyonan.chiba.jp/>

12月議会

水道料金 5%引き下げへ 条例改正案を可決



水道工事

当局案3%に異論

12月定例議会は会期を6日から9日までの4日間として開催した。今定例会での町長提出議案は、鋸南町水道給水条例の一部改正と補正予算など計8件。一般質問は三国、小藤田、緒方の3議員が質問席に立った。

定例会開会后、ただちに議員全員協議会を開催し、当局提出の水道料金3%引き下げの条例案の協議を行っ

た。当局からは5%値下げで再提出したい旨説明があり、3%値下げの条例案を撤回した、最終日に追加議

案として、水道料金を4月から(5月請求分)5%値下げする条例案を提出すること、議会運営委員会が

了承した。また、水道料金見直しをめぐる当局との議論の結果、議案の撤回を促し、年々収益が減少する中で、老朽管敷設替えが急務であり、繰出しの増額や、経営努力により水道財政健全化に向けて取り組むことを要望し、更なる引下げを實現した。

その他に、税条例の一部改正、安房郡市広域市町村圏事務組合の規約変更、町道路線認定の議案が提出され全員賛成で可決した。

主な質疑

質問 5%引き下げは町民も歓迎するが、水道会計の運営を危惧する。
水道課長 経営努力をし、経費の削減に努力したい。
質問 高料金対策限度額まで繰出すことが町民のためになると思うので努力してほしい。

本会議での討論

副町長 町は、実質公債費比率の抑制を行う必要があることから8千万円が限度です。

賛成 (笹生議員) 町長提案が3%の引き下げであったので、5%10%の修正動議の準備をした。このことから提案の訂正・再上程となったが、現時点では精一杯の5%と思うので賛成する。
賛成 (伊藤議員) 景気低迷の中で料金引き下げは歓迎する。

反対 (松岡議員) 行財政改革により、財政調整基金が多額にある。引下げ5%ではまだ足りない。



難視対策用アンテナ（鋸南町浄水場）

補正予算

水道会計総合対策繰り出し 1千万円増額の8千万円に

一般会計補正予算

3億4,533万3千円を追加し、総額が40億7,725万4千円。歳入では、普通交付税2億2,189万4千円、災害復旧費国庫負担金5,002万5千円、宝くじ交付金3,599万2千円。

歳出の主なものは、水道会計への繰出981万4千円、保田漁港調査設計業務委託700万円、道路災害復旧工事費7,500万円、財政調整基金へ2億3,517万4千円、教育施設等整備基金へ500万円の積立。

国保会計補正予算

職員給与費により9万7千円を減額し、総額が12億7,223万9千円。

介護会計補正予算

職員給与費により14万2千円を減額し、総額が11億2,909万円。

水道会計補正予算

収益的収入では、一般会計繰入金、県補助金を合わせ、2,001万5千円を増額し、4億7,610万5千円。支出では、職員給与費により、19万4千円の減額となり、総額が4億4,917万3千円。

水道会計に総合対策として1千万円繰出し、総額は8千万円になり、財政調整基金への積立は、2億3500万円となった。

質問 共聴施設整備事業とはどのような工事か。

主な質疑



箱わな運搬

総務企画課長 難視13世帯で構成する岩井袋テレビ組合に対する補助になります。町には14地区287世帯の難視地域があり、関東広域地上デジタル放送推進協議会が調査をしています。
質問 狩猟免許取得事業補助金とは。
地域振興課長 わな免許取得者に対する補助で県3分の1、町3分の2の負担です。

ここがききたい



いっぱん

質問

老人福祉センター
笑楽の湯

温泉掘削の具体化は

地域ごとの防災対策の検討を



三国 幸次 議員

質問 温泉掘削については、鋸南町過疎地域自立促進計画に織り込まれ、23年・24年度の2カ年計画で実施予定だが、具体化の目途はどうか。また、来年度の予算に組み込まないか。
町長 温泉を掘り当て、笑楽の湯が、佐久間地域の拠点となり得るよう、観光資源の再発掘に努めます。また、翌年度に課題等を整理して、早い時期に着手に向けて取り組めます。
要望 できるだけ早く掘削ができるように進めてほしい。

質問 9月の一般質問で直売所の充実を取り上げ、鋸南地域には富楽里、枇杷俱樂部、鄙の里などの道の駅があり、地域の活性化に多大な貢献をしている。それ



小藤田 一幸 議員

に比べ、鋸南直売所はあまりにも売り上げが低い。できれば第4分団を移転か第3分団と統合して跡地を利

用できないかという提案をした。町長は、保田小跡地に比べ、鋸南直売所はあまりにも売り上げが低い。では直売所だけでなく、高速バスの駐車場をつくるという答えであった。そのため、直売所を保田小の場所に考えているか。また高速バスを保田小にもつくる

い。
質問 10月16日に行われた防災訓練は、東日本大震災を教訓にし、これまでと違う方法で行われたが、評価はどうか。
町長 今回の防災訓練は、

町民の皆さんが自主的に且つ、真剣に参加され、一定の成果があったと判断しています。
要望 是非町民が防災意識を高め、各家庭での防災対策が進むような形で力を入れてほしい。
質問 地域ごとの防災対策の検討を急ぐべきだが、町の考えはどうか。
町長 地域で万全な体制を確立するため、自主防災組織を設立することにより、

関係機関と連携して活動できるようになります。要援護者の避難や支援体制についても、今後、協議・検討をしていきたいと考えます。
要望 地域ごとの防災対策は、具体的な計画づくりや、要援護者の避難支援を一体的なものとして検討し、緻密な取り組みをしてほしい。

保田小学校跡地は 高齢者福祉施設などに活用を





スクールバス送迎



保田小学校

取り組みはどこまで進んでいるか再質問した。

町長 現段階ではその利用計画には着手していません。

質問 鋸南町総合計画によると、10年後の人口は7200人台になり、65歳以上が人口の半分を占めるといふ。また平成26年4月から

保田小、勝山小の合併により、校地面積4100坪、建物だけでも1600坪もある空き地ができる。財政

事情を考えると、高齢者対策として、空き教室を活用するなど早急な対策が必要と考えるがどうか。

町長 どういう形態の交流

拠点が望まれるか市場調査等の手法を取り入れ、今後作り上げていきたいと考えます。

要望 平成16年度の高速バス運行時は、保田のバス停の1便当たり利用者は平均0・43人だった。廃止理由として、高速道路から

一度降りる設定では、安全性と速達性に支障があり、再開は不可能とのことだった。鋸南苑の入所には、現在100人以上待機者がいる状況なので、保田小跡地活用の協議を早く進めてほしい。

人口減対策は最重要課題

町民優先の意識改革を



緒方 猛 議員

質問 町の人口は5年で8.5%減、10年先20%減と推計

現可能な戦略と戦術が必要と考えるがどうか。

住者数は把握しているか。
町長 保田小跡地を活用し地域経済や賑わい対策を考えています。年間定住者数は7人程になります。

町長 常識・習慣にとらわれず住民本位の業務推進に心掛けるよう指導します。

合評価で人口減を止める政策が見えないと9月にたた

なかつたようです。財政や効果を検討し実施時期などを決めます。財政運営に影響あれば事業を断念します。

質問 町最大の課題をきちんと把握すべき。政策と活性化の遅れ、発信力も問題

質問 民間企業は品質・コスト・サービスで常にグローバルな競争をしているが、本町の実態は。

響し集落維持も困難となりうる最も憂慮すべき緊急課題である。任期中に過疎を

質問 事業を行うとも、断念するとも言う真意は。また、現在人口は年約200

副町長 説明頂き行政に携わる者として、原点に戻る

町長 QCサークルや提案制度は意識改革や効率化に有効な活動と考えており、職員

弁がありそのためには、実

人減少しているが、年間定

職員の意識改革に努めます。

必要を感じました。
質問 行政は住民側に代替商品がない。良質の業務提供をすべき。全てと言わぬが未だにぬるま湯的体質で意識改革が必要と考えるがどうか。

の見直し

△3%→△5%引き下げに

議員全員協議会

近隣水道料金比較表

(H22.4.1 現在 単位円/月)

事業体名	10 m ³ 使用	20 m ³ 使用	備 考
鋸南町	2,556 (2,481)	5,023 (4,865)	() は H24.4.1 予定
鴨川市	2,047	4,357	
南房総市	1,795	3,685	
三芳水道企業団	1,795	3,685	館山市を含む

(メーター使用料及び消費税含む)

議会の意向で値下げ幅増

11月18日に、定例会に向けての議員全員協議会が開催され、平成26年度までの財政推計や水道料金の値下げ、23年度の千葉県人事委員会勧告の概要などが議題となった。また、12月議会では、定例会開会直後にも水道料金見直しをめぐっての議論から、全員協議会が開かれた。

水道料金の3%値下げを実現するために、給水条例一部改正について町より説明を受け、改正後は一般13mmで10トン使用時点で2556円が2481円に75円の値下げ、同じく20トンの使用では、5023円が4865円、158円の値下げになるとのことだった。説明後、議員から次のような質問、意見等が出された。

質問 財政が厳しい中で3%の料金引き下げを判断してくれたことは、評価したいと思うが、3%の引き下げで町民が引き下げを実感できるかどうか。

副町長 5%から10%ぐらい値下しないと下がったという実感が無いと思います。意見 今回3%値下げすることによって変わる周辺自治体の水道料金の比較を示してほしい。

会期中の全員協議会

主な質疑

意見 3%を5%で出し直すことは評価したい。会計が赤字にならないように努力するように。

意見 町民の負担を少しでも減らすことになるので賛成する。

要望 水道料引き下げのため未収金の回収等営業努力をしてほしい。

質問 5%引き下げること高い水道料の順位は変わるのか。

水道課長 安くはなりません。が順位は変わりません。



町道 2140 号線 (岩井袋)

水道料金

新しい水道料金 (1ヶ月につき)

※消費税別

区分	水量	現行料金	新料金	比較	
一般用	基本料金	8 m ³ まで	1,815 円	1,724 円	△91 円
	超過料金	9 m ³ 以上 20 m ³ まで	235 円	223 円	△12 円
	(1 m ³ につき)	21 m ³ 以上	355 円	337 円	△18 円
一般大口用	基本料金	100 m ³ まで	26,015 円	24,714 円	△1,301 円
	超過料金	1 m ³ につき	265 円	251 円	△14 円
船舶用	1 m ³ につき	245 円	232 円	△13 円	
臨時用	1 m ³ につき	615 円	584 円	△31 円	

☆臨時議会☆

去る11月29日に第6回臨時議会を開催し、千葉県人事委員会の勧告に基づく一般職の給与を引き下げる条例改正や、台風15号の被害による修繕料、豪雨による町道の災害などの補正予算を承認可決した。

☆専決処分

一般会計補正予算 (第4号)

9月21日の台風15号により被害を受けた公共施設修繕料 464 万円補正。

一般会計補正予算 (第5号)

10月22日の豪雨による町道2140号線岩井袋の災害復旧測量設計 239 万円 9 千円補正。

☆条例改正

一般職給与条例改正について

千葉県人事委員会勧告に基づく平均 0.27% の引き下げ案を全員賛成により可決。

安房広域圏事務組合で行っている、ゴミ処理広域化に係る循環型社会の形成推進地域計画を昨年12月に国

へ申請することになりました。国の事業計画が承認されると、平成24年度から平成28年度まで行う事業計画

の交付金が受けられるということで、事業計画の概要の説明を受けました。

広域の循環型ごみ処理施設 地域計画を申請へ

あなたも参加してみませんか

味わいハイキング

昨年、地域包括支援センターでの介護予防の取り組みが、全国国保地域医療学会で優秀賞を受けたことは大変うれしいことです。

体力の衰えは足腰からとよく言われます。仕事によつていろいろ筋肉を使いますが、案外足を使うことは少ないものです。今自分の健康は自分で守ろうという活動が広がっていますが、歩くことによつて、全身の血行が良くなり老化防止にも役立ちます。地域振興課でも平成16年度から地域活性化の取り組みとして、中高齢層に人気のある低山ハイキングを、これまで80回ほどサポートし、実施しています。地元の果実を食べ、花を見、はちみつなどのおみやげがいたり、地域の



味わいハイキング

問い合わせ先

地域振興課まちづくり推進室 ☎ 55-1560

歴史文化に触れることもできます。なお、お昼のお弁当もなかなか凝っていてそれも楽しみの一つです。

よなん」で予定が出ますので是非参加していただければと思います。
*足が痛くなったり体調を崩しても救助体制がしっかりしていますのでご安心を。

現在年間スケジュールが作られ、毎月1回「町報き

議会の日誌

11月18日 (金) 議員全員協議会

11月22日 (火) 議会運営委員会

11月29日 (火) 第6回議会臨時会

11月29日 (火) 議員全員協議会

11月29日 (火) 議会運営委員会

12月6日 (火) ~9日 (金) 第7回議会定例会

12月6日 (火) 全員協議会

12月6日 (火) 議会運営委員会

1月10日 (火) 議会広報特別委員会

編集後記

平成22年10月に行われた国勢調査によると、町の人口は8950人(人口減少率県下1位)このまま進むと10年後は7200人台になるという推計(鋸南町総合計画平成23年・3刊)がでています。

また10年後65歳以上が人口の半分になり、限界集落といつて冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になる状況も見込まれます。これを考えると、地域の活性化・高齢者対策は町全体で考えなければならぬ最重要課題です。

鋸南町が明るく、活力を持って発展していくために、どうしていけばよいか。常に地域の現状と問題点を考え、住民と行政の橋渡しをすべき議員として、活発な議会にしていきたいと思っています。

小藤田

